

令和2年度第2回 名張市地域公共交通会議事業推進部会 議事概要

日時 令和3年1月28日(木)

午後1時30分より

場所 名張市役所 大会議室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 准教授)  
池田 守 (名張市地域公共交通会議 委員)  
石川 裕三 (名張市地域公共交通会議 委員)  
澤田 恭子 (名張市地域公共交通会議 委員)  
細川 智之 (名張市保育所(園)認定こども園保護者会連絡協議会 会長)  
宮崎 正秀 (名張市地域環境部 部長)

(2) 事務局

都市整備部都市計画室3名

1. 開会

2. 議事

(1) 新型コロナウイルスの影響下における市内公共交通の現状について

(事務局より資料をもとに説明)

部会長 ご説明ありがとうございました。それでは今の議事につきまして、ご意見ご質問等ございませんか。

事務局 こちらの裏面の数値につきましてはコミュニティバスの利用状況についてですが、三重交通からも利用者減少についてグループ全体のお話はうかがっております。やはり利用者数は昨年度比ひどいときには50%くらい落ち込んだ月もあったということですが、現時点でもだいたい前年度比70%くらいとなっており、大変利用者が減少している状況にあるということでもあります。やはり営業所によっていろいろな傾向もあるということですが、いずれのところも厳しい状況です。

委員 かなり減少している地区もあると思います。この原因ははっきりしているのでしょうか。

事務局 推測ではありますが、全国的な傾向とほぼ同一だと思いますが、感染が一番初めに広がり始めた2~5月はやはり皆さん国の緊急事態宣言ということもあり、外出を控えられたということで一気に落ち込んだ時期でもありました。緊急事態宣言の解除後、若干回復したところもありますが、引き続き外出の回数を控えていただくということがあったかと思しますので、完全な回復には至らないまま第2波、第3波というかたちで感染者数が大きく報道される中、皆さん外出機会を抑えられていると推測されます。

部会長 その他ございませんでしょうか。バスだけではなく、鉄道の利用者も皆さんご存じのように大幅に減少しています。鉄道についてもあまりに少なくなると今度は減便という形になり利便性が下がってくるだろうかと思います。新幹線や飛行機等につきましてはもう減便が始まっていますし、次は地方の鉄道事業者の減便につながるだろうと、3か月前から言われて

いますので、ひょっとしたら減便の可能性がないわけではないですが、やっとなワクチンが、という話も出ていますので、それを見越して各事業者がまた色々考えられると思います。

事務局 近鉄の減便の状況ですが、ホームページで発表されている情報ですが、現在特急は土日、一部路線一部時間での運休があります。現在、近鉄大阪線の特急では運休はありませんが、1月末から近鉄大阪線等でも一部運休を行うそうです。また、特急以外の電車でも路線ごとに運休をすると発表がありました。名張駅を通る近鉄大阪線でも平日、休日通して運休はあるのですが、高安から上本町までの一部運休ということですので、名張を走る路線での運休はありません。

部会長 その他ございませんでしょうか。また最後にご意見をお伺いしますので、次の議事にいきたいと思います。2番目の議事といたしまして、免許返納者に対する市内コミュニティバスお試し乗車券の発行（案）について事務局からご説明をお願いします。

(2) 免許返納者に対する市内コミュニティバスお試し乗車券の発行（案）について  
(事務局より資料に基づき説明)

部会長 ありがとうございます。ただ今のご説明に対してご意見ご質問ございますか。

委員 三交バスが半額になるというのは書いていないのでしょうか。

事務局 参考資料2のめくっていただいた左側に三重交通バスの割引をご案内させていただいています。内容としては、運賃が半額になることや、セーフティーパスという安く定期券が買えるようなかたちにもなっております。

委員 優遇措置をすると運営協議会の負担が新たに発生するということであり安易なこととは言えませんが、他の市町での支援制度を見ると、いくつかの市町で返納者に対して運賃半額と書いているところが見られます。そのあたりまで広げられるというのは将来的にお考えなのでしょうか。

事務局 他の市町では、コミュニティバスの運行を市で行っているところですので、運賃の割引をする際には市の負担ということになります。現在名張市では地域のコミュニティバスは地域が主体となった運営協議会で運営していただいておりますので、各コミュニティバスの運行につきましては、運賃と市からの補助金で賄っていますので、割引などをしますと当然ながら多く乗っていただければいいのですが、運賃収入を割引くとその分収入が減ってしまうというところがあります。実際これで反応がどれだけあるかというのはわかりませんが、元々名張市のコミュニティバスの運賃は安く設定されていることがございますし、すでにご利用いただいている多くの方は高齢者、障害者という状況ですので、免許を返納された方だけを永続的に割引にすることよりも、あくまでも今回の趣旨は免許を返納して、これからどうやって生活していこうかと悩まれている方にコミバスを利用していただく1つのきっかけとしてこういった無料乗車券等を設けさせていただいて、今後の利用者に繋げていこうという考えです。

先ほども説明がありましたように、なかなか継続的に1人に対しこれを続けていく、例えば年間いくらというのは難しいかなと思っております。それは市の財源等もありますが、地域運行協議会の負担という部分もあり、あくまでも乗っていただく「きっかけ」となるような

仕組みづくりをしていくというところでは、料金体系等につきましては、コミバスの運営協議会の会議の中で一度お話しさせていただかないといけないと思いますので、あくまでも継続して行えるかということではなく、乗ってもらうためのきっかけというところをしたいと思います。

委員 私は前福祉の部局にいた時、よく免許証を返された方から質問がありましたので、この免許証を返納された方への案内を作らせていただいたのですが、なかなか他市がやっているような特典がないので、部としては三重交通の半額と生活支援の一部として一部の地域が行っている外出支援を載せています。今提案していただいている内容についてはそういった問い合わせがあった時には言わせていただき「それなら試してみようか」という方はおられるかと思います。これの料金というのは、おそらくバスは空で走っても運行はするので、発行して例えばナッキー号によく乗られる、ほっとバスに乗るといって、その券で無料で乗られるというものですので、収入がなくなる可能性もありますが、各協議会が持ち出すということでもないわけですね。

事務局 そうですね。そもそも運転免許を返納した方に渡すもので、今までバスに乗っていただいていた方が無料で乗る減収になるわけではなく、新たに乗られる方が無料で何回か乗れるということになるので、それが後々の利用につながっていけば、収入増加につながる可能性も大いにあり得ると考えます。

委員 そうするならば、例えば1か月パスポートとか、券だと作成の手間もありますし、切って渡すという手間もあります。ひと月などキリのいい単位で翌月からひと月使っていただけますなど、協議会とは調整していただくことにはなるとは思います。そういったかたちだと窓口に来られても説明しやすいと思います。

委員 6回というのは、乗り継いだ時は1回ずつになりますか。

事務局 基本的にはそのように考えています。場合によっては、1日に2、3枚使っていただくこともあり得ると考えています。

委員 そうするとやはりパスでいった方がいいと思います。僕らも普段車で移動するのであまりイメージが湧かないですが、この状態から今度利用しようとした時に、何回か体験してみないとわからないと思うので、それをパスで市内をぐるっと、例えば市立病院やどこかの郵便局に行くなど、これとこれに乗ったらいけるのかというのをその期間内に把握できれば、今後使えるようになってくるかなと思います。1回行って終わってしまったら多分勝手が悪いかなと思います。本人に体験してもらって、やはり使ってもらわないとだめだと思うので。

事務局 そうですね。今私どもが示させていただいているものは、例えばみどり号からナッキー号に乗り換えていただくとそこで2枚使い、帰ってくる時には4枚使ってしまうということになりますので、確かにフリーパスのようなものを期間中に使っていただくということも、また次の会議で諮らせていただきたいと思います。

部会長 他にどうでしょうか。例えば免許返納をして1年以内にとあります。また、回数券だとすると、発行から1年間だけしか有効期限がないとか、あるいは例えば、免許返納をしたら配偶者の方がいらっしゃる場合その扱いをどうするかなど色々あると思いますが、そのあたりの意見がありましたら伺いたいのですが。

委員 おっしゃっていただいたように、窓口に見える方は基本ご夫婦でどういう特典があるのか聞きに来られることからすると、期間を定めてご夫婦などで使われて、多分お金というよりはうまく利用できるのかな、どんな交通機関があるのかなというのを、今まで車だったので全くバスも乗っていないというような方が聞きに来られます。どなたまでいいのかというのを決めたりというのは難しいかもしれませんが、期間や対象となる方を検討していただけたらと思います。乗せてもらえる家族がいたらいいというのがありますが、そんな方でもそれに乗ったら外出できるということをわかってもらうことも大事だと思いますので、それもふまえて検討していただければと思います。

部会長 おそらく返納した当初は家族やご近所さんに乗せてもらえる方もいると思いますが、状況が変わる時が多々あると思うので、もし1か月パスポートのようなかたちにするのであれば、申請があつてから1か月等だけなので、特にこの免許返納をしてから1年以内というのは、皆さんどうでしょうか。設けたほうがいいのか、設けないほうがいいのか。あまり制度としてたくさん条件を付けてしまうと逆にせつかく作った制度が使いにくくなったり申請も忘れていて今からでは無理だとなってしまう可能性もあるので。

委員 話が違う方向になるかもしれませんが、免許返納をしてもらうためにこんな利点がありますよ、そのためのコミュニティバスにするのか、コミュニティバスに利用してもらうために、こういう利点があるので利用してくださいというのが私の頭の中ではごちゃごちゃになっている感じがします。返納してもらうためにコミュニティバスをやっているというのが主になっている感じがしますが、その点はどうでしょうか。

事務局 確かに高齢者の免許返納について話題になっていますが、名張市として今現在、免許返納を推し進めるという方策はさせていただいていない状況ですが、個人のご判断で免許返納に踏み切られる方というのが増えてきているのは事実ですので、そういった方が免許返納をした後の生活をどう組み立てていくかという時のきっかけ作りや免許返納をするときの判断としてコミバスがありますので、免許返納をした後の使い方を試していただくためにということでご提示できるものであればいいかと思います。免許返納を促進するという意味でのものではないということになります。

ただ、年々免許返納をする人は増えてきていますが、その代わりに公共交通の利用者が増えているかという、減っていつています。なので、そういった状況を改善できればということも考えています。

委員 そうしたらお言葉を返すようですが、今この話の上では、免許を返納した人を対象に進めている感じがします。返納した人は当然そうですが、返納しようかどうか迷っている方への特典までは話が進んでいないということですか。

事務局 現状として、免許を返納する予定の方等まで対象を広げるのは難しい状況です。

委員 私としては、返納を迷っている方を対象の中に入れてもらえると「免許を返納してもこういう利点があるし、そんなに不自由しないな」と、ここではっきりと返納しようかと本人も納得できると思います。そこまで対象を広げると予算の関係もあるし大変なことが起こってくるかもしれませんが、今現時点では返納をした人が対象ということでもいいのでしょうか。これからは迷っている方も対象の中に入れるという可能性もありますか。

事務局 はい。今後検討する課題であると思います。

部会長 ほかの市では意外にそういうところもあります。返納する前にお試しで乗ってみるといのはありますが、意外にその利用者は少なく、多くは免許返納される方は運転ができなくなって返納される方が多いので、その分公共交通を使わない人も多いのは確かですが、その中でもいないわけではないので、何百人の中の数十人の方は公共交通を利用したいと思っているので。知らない人が多いです。免許返納をしたら先ほどあったように窓口に来られて質問に来る方がいるとおっしゃっていましたが、どういう手段があるのか知らないので、知ってもらう1つのきっかけでもあると思います。これを1回利用してもらって、こういう移動方法もあるのかと、逆に地域でいろいろな福祉的な移動もやっておられますので、そういったことも知る1つのきっかけになってもらえれば、コミバスを使ってもらえばいいですが、福祉的な移動やタクシー、三重交通のバスなども使ってもらい市民の方が移動になるべく不自由しないようにというところを知ってもらうきっかけになればいいのかなというのがおそらく今回の狙いかなと思います。

委員 どの市町村でも便利のいいところとそうでないところも多々あると思います。便利のいいところは免許が無くても生活の不自由はそんなにしないと思いますが、辺鄙なところで車がないと何もできないという方もいると思います。その方も免許返納をしてと言っても運転がその人の生活の一部ですので、なかなかそこまで踏ん切りがつかないと思います。今後買い物や病院に行くのにも交通の便がなかったらどうやって行くのかなと、やっぱり返納するのは無理だなとたちごっこのようになってくると思います。そういうところも、すべての地区が便利になるのが最高ですが、それは不可能に近いということですので、その谷間のところをどうしていくかというのを検討していかないといけないのではないかと思います。

部会長 おっしゃる通りです。それは実は我々のほうがやらなければいけないことですが、なかなかうまくいなくて話が全然違う方向にいきますが、運転される方はずっと運転したいんです。自分の運転でいろんなところに行きたいと思っていますが、最近分かってきたのがご高齢になるにしたがってあまり遠距離の移動は自分の車ではしません。だからある地域では小さい車を補助を出して買っていただいて、スピードもそんなに出不いような車で移動してもらいます。時間はたくさんありますので、それで移動してもらいましょうと。今安全装置もいろいろあるので、そういったものを付けると安全性も向上します。人にぶつかっても死亡事故にならないような車も今開発されていますので、そういったもので今後移動したほうがいいのか、いや高齢者の方の運転は危ないという方もいますが、車のいろんな安全設備が今飛躍的に上がっていきまして、おそらく近い将来小型のモビリティで高齢の方も安心して移動できるようなシステムが出来上がってくるだろうなという想像をしていますが、今のところ費用が掛かってしまいますので、予算のある市町村であればそういった補助を出してたくさん買うとかいろんなことができます。そういったものが普及してくればどんどん単価も安くなっていろんな方が利用できるようになるので。

委員 そうなれば車の方に安全措置などを付けていって車のほうが先走りしているわけです。ここで一番見直さないといけないのは道路もそれにつれてどんどん改良していかないといけないと思います。

事務局 確かに道路事業というのは、公共交通という面で考えると手段ではなく、そのカテゴリの中には当然この道路行政というのも入ってきます。私どもは都市計画室というところになりまして公共交通だけでなく、都市計画という部分もさせていただいております。道路整備につきましては、都市整備部の中の道路河川室や維持管理室など道路部局がやっていることですが、名張市内の道路などをまちづくりの中でどうしていくのかというのが、優先されるべきものというのは国道であるとか、県道など利用頻度が高いところが行政としては優先される場所かなと思います。それも災害があったときに他県他市からの緊急輸送されるような道路ということで一次緊急輸送道路や二次緊急輸送道路などの位置づけの中で道路を指定してございます。ただし、その優先順位としてそのような道路が優先される部分はありますが、その他の地域に行っている道をないがしろにするわけではなく、道路整備していく必要があるということでもあります。ただ、おっしゃるように予算の絡みもありますので、どこを優先していくかということで、公共交通計画の中でも道路行政というのは表裏一体のもので、道路が整備されなかったら車も走れないという状況になってくるのでそれは行政として部局の中でどれを優先していくかというのは今後検討していかなければと考えております。

部会長 ありがとうございます。その他ございませぬか。それでは、この議案につきましては今後連携協議会の方でもお話しさせていただいてもう1度くらいお話しさせていただく機会があると思いますので、またご意見をいただければと思います。それでは、(3)の議事に移りたいと思います。市内コミュニティバス路線図について事務局の方からお願いします。

### (3) 市内コミュニティバス路線図について

(事務局より資料に基づき説明)

部会長 ありがとうございます。ただ今ご説明いただきました路線図について何かご意見ご質問ございましたらお願いします。

委員 ぎゅーとらの桔梗が丘店の場所が違います。

事務局 少し古い状況で作成していますので、訂正いたします。

委員 大きさはA3くらいのサイズで考えていますか。

事務局 駅や市役所に掲示するのはこの倍かさらに倍か、三重交通と相談もしないといけません、できるだけ大きなものでできたらと思います。

あまりにも小さかったら字自体が小さくなってしまいますので、ご高齢の方は見にくい部分もあるかと思いますが、掲示する場所によって限界があると思いますので、予測されるのは先ほど申し上げたサイズくらいかと思っていますが、場所の問題もあります。

委員 QRコードを読み取ろうと思ったらなかなか狙ったところにかかないので、もう少し離れたらいいと思います。

事務局 お配りするのはA3でと考えていますので、この点は改善させていただきます。

委員 手前味噌になるかもしれないですが、美旗駅にもほしいなと思います。

事務局 近鉄にご相談もさせていただきますが、なかなか恒常的な掲示が近鉄では許可されないところがあります。

委員 美旗を観光地として推せるのではないかと考えていますが、駅から出たところに、古墳がど

ここにあるといった看板があります。住んでいる人は減りつつありますが、観光客がこんなに安く行けると、私は時々案内をするのですが、行きはいいですが帰りにバスがないので、この案内を観光の方にも使っていただけたらと思います。

事務局 美旗駅の周りも見に行かせていただいて調査させていただきます。

部会長 なかなか近鉄がうんと言ってくれません。これは名張市だけに限らず近鉄や JR もそうですが、ちょっと置くにも簡単に OK と言ってくれなくて JR は駅長さん次第というのがあり、駅長さんが気前のいい人なら全然いいと言ってくれますが、利用者の安全というのを考えると安易になかなか許しが出ないところもあります。

委員 私はこの地図は素晴らしいものを作ってもらってありがたいくらい私から見ればよく分かる地図だと思います。あとは、わからない人にどのように PR するかというのを考えてほしいなと思います。

事務局 これは路線だけですので、実際どのようにバスが走っているのかというのをセットで見ないことには役に立たないと思いますので、そういったところも含め検討します。

部会長 そのほかございませんでしょうか。事前に資料をいただいていたので学生に見せたら、名張郵便局の郵便マークが赤色じゃないとか、公共施設が色々ありまして、例えば総合体育館のところ、バス停名は総合体育館とありますが、施設が総合体育館というのは初めて見るとわからないと言っていたので、できれば入れた方が二重にはなってしまいますが大きいものであれば入れてもいいのかなと思います。例えば小さい配付版には入れずに大きくした時には入れるなどもあるかと思ひます。あと学生が言っていたのが、QR コードをもし掲示するのであれば位置によっては上にしてしまうと届かないところもあるので下バージョンもあった方がいいと思います。

委員 私はこれでいいと思いますが、郵便局を書いてある基準が、一般郵便局だけかなと思ったら、薦原の簡易郵便局も入っているので、路線で見たら東田原郵便局なども入っていないし、それを言い出すときりがないのでこれでいいと思いますが、そのあたり市民の方がこれを見てここがないなど思われる方もいるかなと思ひました。

事務局 目印となるということで、特に薦原郵便局については簡易郵便局ですが、郵便局前というバス停があるので特に付けさせていただいております。そのあたりもまた見直させていただきます。

委員 感想ですが、これを見せてもらおうと免許返納をした時には1か月くらいの無料パスのほうが嬉しいかなと思います。1か月の間でいろんなところに行ってみようという気分になりました。

委員 観光地で配るものに載せておくと、美旗駅は駅降りて見て周れるところも多いのでそういったものもできれば。

部会長 そういったところで活用したい場合はそこだけ切り取って利用していただいて各自でアレンジしながら活用していただいたりそういった使い方もできるのではないかと思います。エクセルで作られたというのがすごいですね。かなり苦勞されたのではないかと思います。

事務局 このかたちに至るまでが大変でしたが、作り始めるとコツを掴みました。微調整も簡単にできます。

部会長 そのほかございませんでしょうか。それでは、最後の議事に移りたいと思います。

(4) 事業推進部会事業中間報告(案)について

(事務局より資料に基づき説明)

部会長 ありがとうございます。ただ今ご説明いただきました内容につきまして何かご意見等ございますか。会議の開催状況と実施した報告になりますので、特段ないのかなと思います。4つの議事がございましたが、何かここでまとめてご発言ありましたらお願いできればと思います。よろしいでしょうか。それでは議事は以上になりますので進行を事務局にお返しいたします。

その他

(事務局より諸連絡)

部会長 それでは、第2回事業推進部会を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。